



浜松市博物館小展示 「屏風や襖の下張文書からわかるもの」の開催

浜松市博物館では近年下張文書の調査に取り組んでいます。普段は屏風や襖の中にありなかなか目にすることがない下張文書ですが、それらを剥離して調査を行うことによりどんな下張文書があるのか明らかになってきます。本展示ではそれらの調査成果を通してわかる下張文書のすがたや地域の歴史を紹介します。

下張文書とは、屏風等を仕立てるときに、補強のために内部に何層か張られた紙の層に使われた古文書のことです。紙が貴重だったため、当時不要となっていた文書が使われました。そのため、下張文書を調査すると、捨てられて見ることができなかったかもしれない古文書を見ることができ、新たな発見がある可能性があります。

記

1 展示要項

- 期間 令和8年3月20日（金・祝）～令和8年5月24日（日）
- 休館日 月曜日（休日にあたるときはその翌日）・休日の翌日・4月22日
- 観覧料 大人310円、高校生150円
中学生以下・70歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介添え者1名までは無料
- 会場 浜松市博物館特別展示室

2 関連企画

- ・文化財を未来へつなぐワークショップ
「屏風の中に眠っている古文書を見つけ出せ」
日時 令和8年3月21日（土）13:00～15:00
会場 浜松市博物館
要申込（申込締切済）